



「お米」のおいしさ創造企業

岩塚製菓株式会社


I R 会社説明会

2006年9月21日

JASDAQ

証券コード: 2221

岩塚製菓の概要

商号	 岩塚製菓株式会社
所在地	新潟県長岡市浦9750番地
創業	昭和22年7月
設立	昭和29年4月
代表者	代表取締役社長 榎 春夫
資本金	16億3,475万円
売上高	184億円（連結197億円）（平成18年3月期）
経常利益	4億40百万円（連結4億76百万円）（平成18年3月期）
従業員	818名（連結904名）（平成18年3月末 現在）
事業所	
[工場]	飯塚工場（総敷地面積 8,003㎡） 飯塚工場東棟（総敷地面積 14,234㎡） 中沢工場（総敷地面積 4,923㎡） 沢下条工場（総敷地面積 60,849㎡） 長岡工場（総敷地面積 23,138㎡） 千歳工場（総敷地面積 19,008㎡）
[支店]	6ヶ所（札幌、仙台、東京東、東京西、名古屋、大阪）
[営業所 出張所]	20ヶ所
事業内容	米菓の製造並びに販売
関係会社	(株)瑞花（高級米菓贈答品専門店） (株)新潟味のれん本舗（米菓の通信販売） (株)越後抄（法人向け販売） 瀋陽岩旺米粉製造有限公司（米粉の製造） 旺旺・ジャパン(株)（菓子の輸入販売）

グループ会社の紹介



株式会社 新潟味のれん本舗



株式会社 越後抄



瀋陽岩旺米粉製造有限公司

感動をお届けする商品づくり



高品質
鮮度第一
主眼

おいさと
楽しさと
豊かさの提供

おいしいこと 新鮮であること
は岩塚製菓の心です

創業の精神

米・技・心

いい材料が味をつくる。それ以上の味と品質は作り方がつくる。

農産物の加工品は、原料より良いものはできない。だから、良い原料を使用しなくてはならない。
ただし、良い原料からまずい加工品はできる。だから、加工技術はしっかり身につけなければならない。
いくら加工技術を身につけても、悪い原料から良いものはできない。 創業者(談)

創業の心

岩塚に産業を興して、冬に出稼ぎをしなくてもいいようにしたい・・・
それが私たちの理想だった。



平石金次郎

○とにかく売れるものを作ったらどうだ。

○採れた農産物を農閑期に加工していけば、
出稼ぎに行かなくても何とか村の暮らしは立つのではないか。

○岩塚の先達になろうじゃないか。

○両方の身上をつぶしてもいいからやってみよう。



横 計作

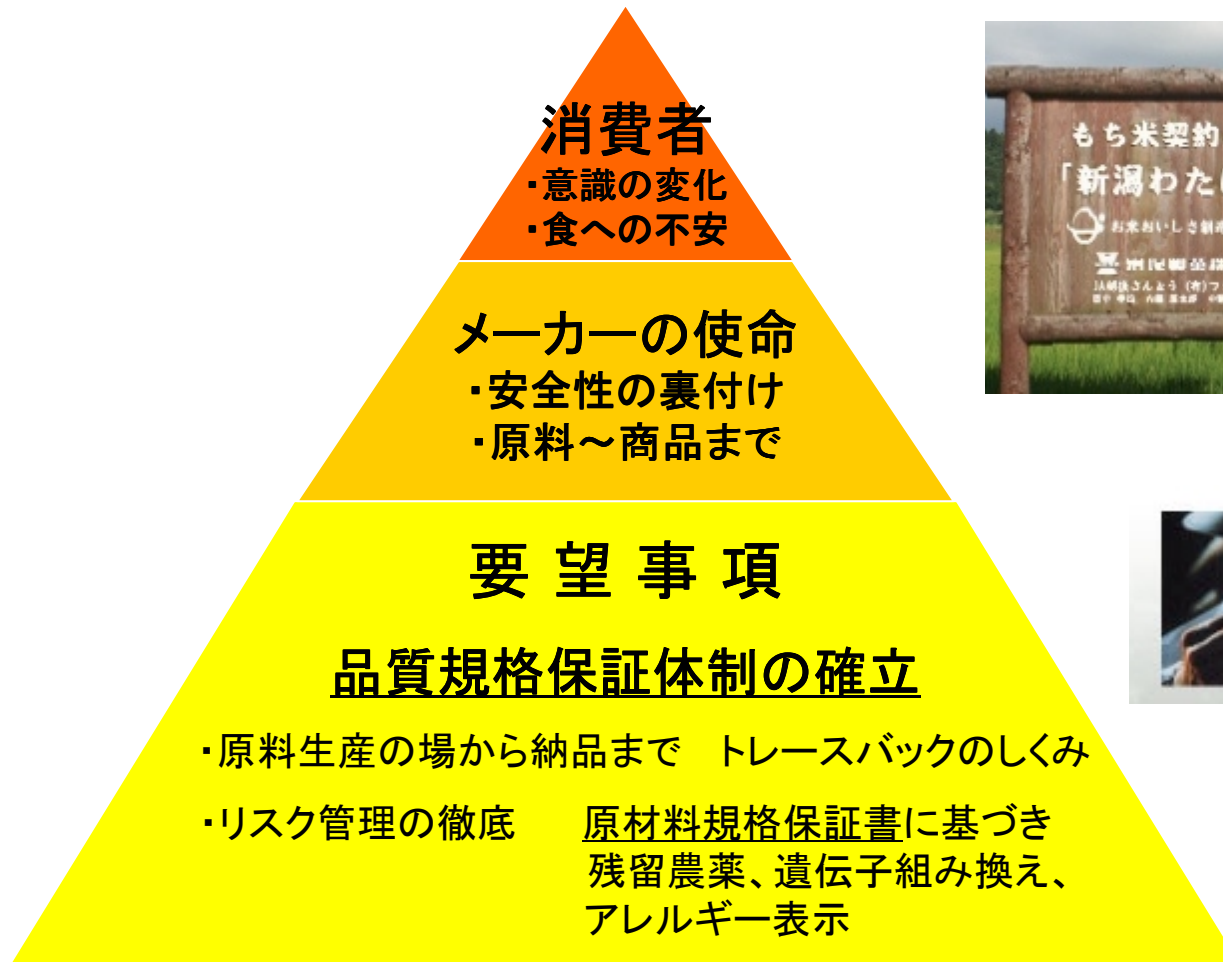
地域社会と共に生きる。(越路で生きつづける事業を創る)

昭和22年 新潟県三島郡岩塚村大字飯塚字十楽寺

「岩塚農産加工場」創業

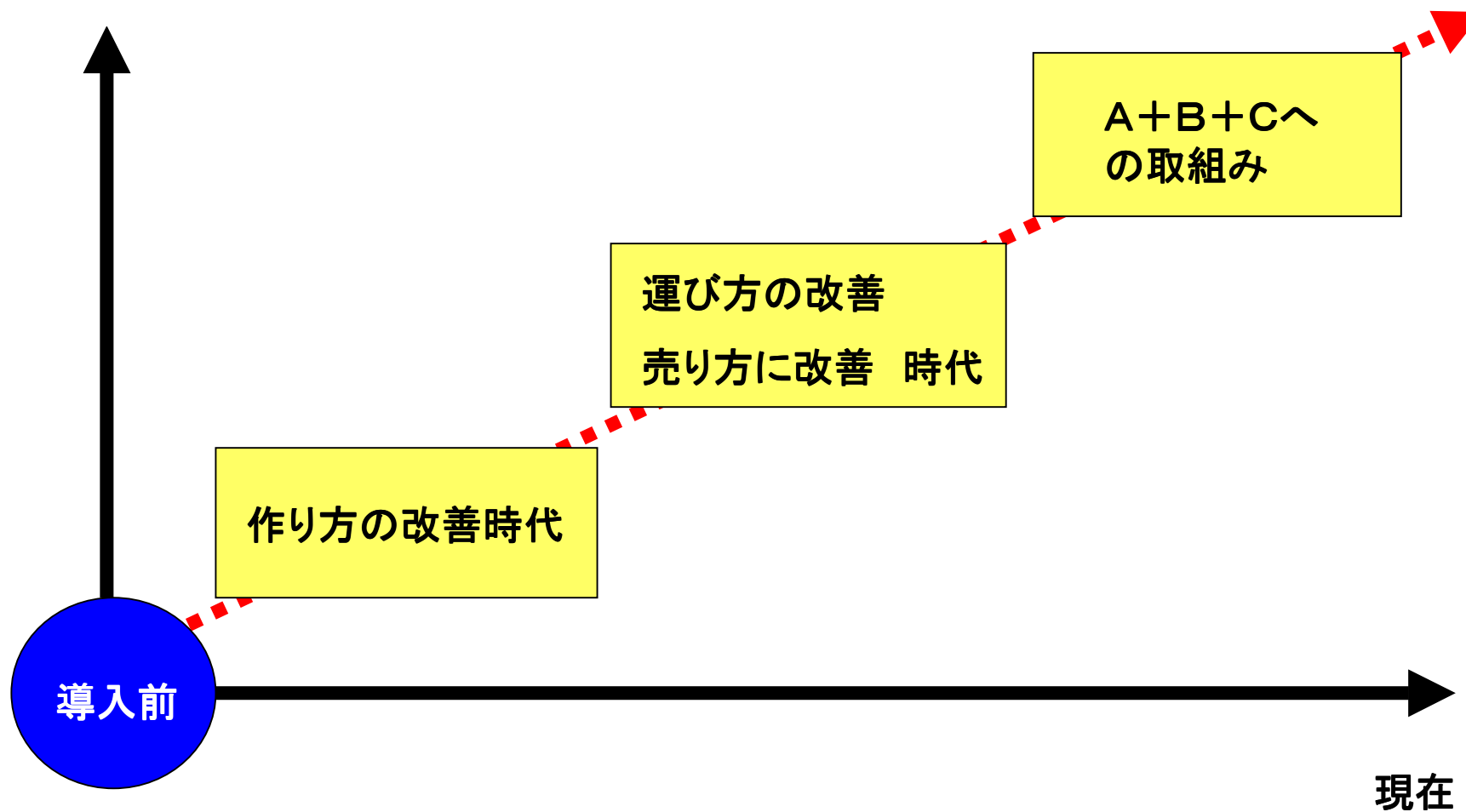
安心・安全な商品づくりを目指して

安心・安全で良質な原材料をタイムリーに！



「IPS」岩塚生産方式の歩み

改善の段階



飯塚新工場稼動

安心・安全な商品づくり、生産能力の大幅増強を図る飯塚新工場



- ・環境への配慮
- ・品質ならびに生産性向上

R & D ・ Mセンター完成

R&D・Mセンターで研究開発とマーケティング機能の連携・充実強化によりお客様の要望に応えます



岩塚製菓 米菓開発 3カ月に半減
売れ筋の投入、機動的に

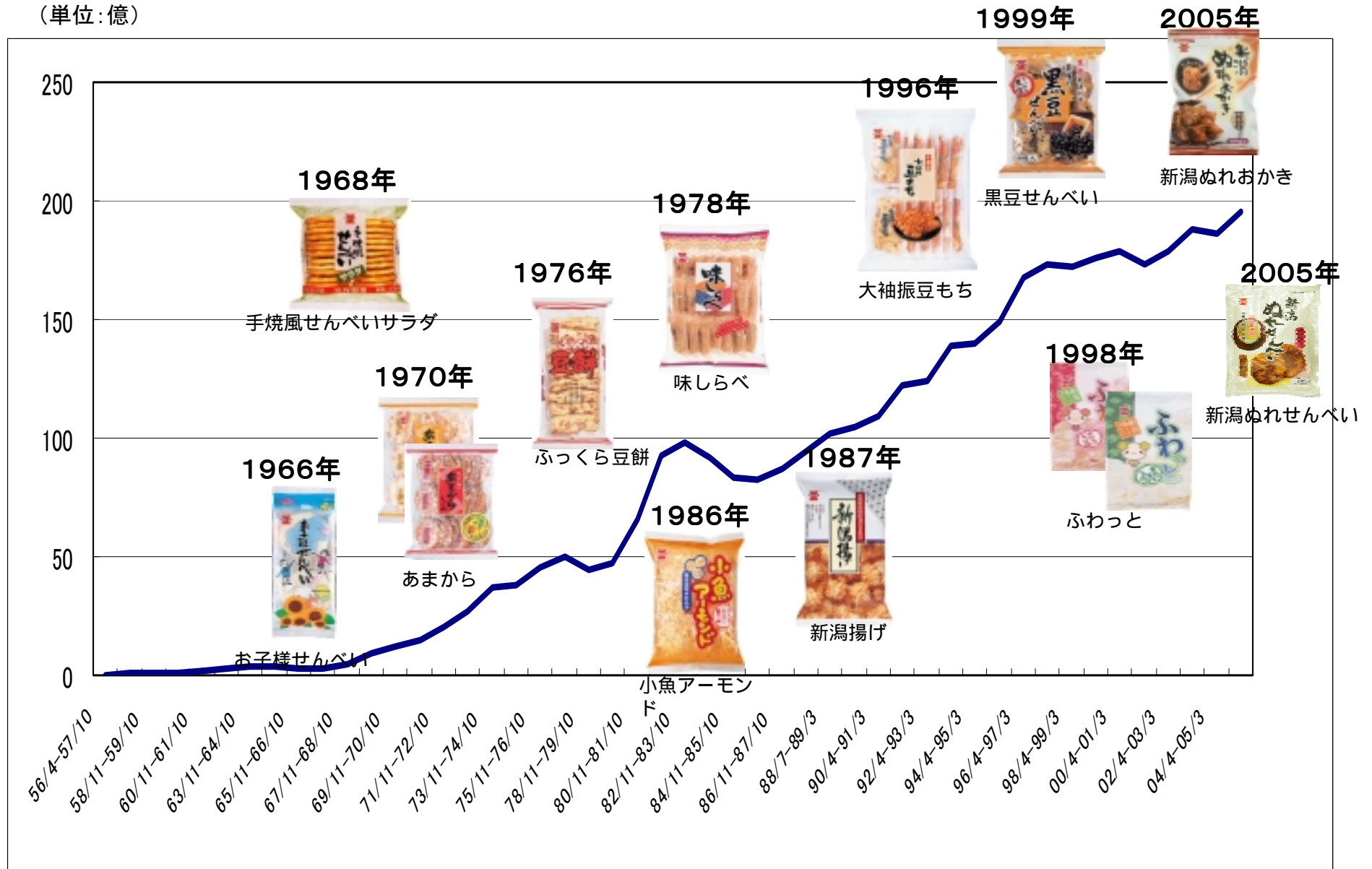
2006年6月28日
日本経済新聞

「おいしさの科学」をテーマにした、岩塚製菓のR&D・Mセンターが、6月28日、長野県上田市に完成した。この新しいセンターは、従来のR&D・Mセンターと異なり、開発とマーケティングの連携を強化し、商品開発期間を3割短縮する。また、売れ筋の投入も機動的に行える。このセンターは、岩塚製菓のR&D・Mセンターの発展的な取り組みとして、今後の商品開発に大きく貢献する。また、このセンターは、岩塚製菓のR&D・Mセンターの発展的な取り組みとして、今後の商品開発に大きく貢献する。また、このセンターは、岩塚製菓のR&D・Mセンターの発展的な取り組みとして、今後の商品開発に大きく貢献する。

- ・おいしさを科学し商品を創る
- ・岩塚気質の伝承(ものづくりの道場)
- ・商品開発期間の短縮

商品の歴史と売上の推移

(単位:億)



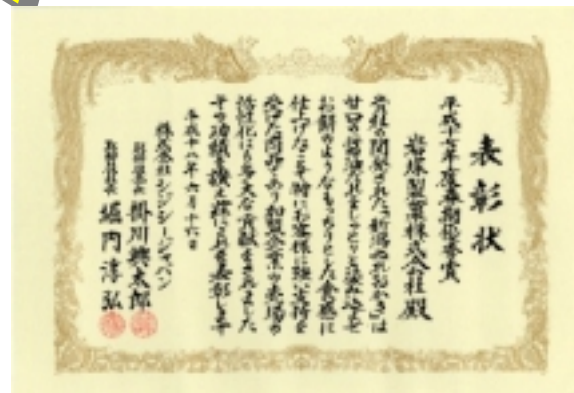
新規需要の創造



市場ニーズとトレンドがマッチ

- ・特徴のある食感
- ・味覚の多様化

市場ニーズとマッチング



市場の活性化



- ・たっぷりからまる懐かしいソース
- ・揚げせんべいなのにやわらか新食感
- ・便利な小分け3パック

懐かしソース

やわらか新食感



販売拡大

体と心の健康「和み」がテーマの新商品



- ・素材の持つ風味を米菓に活かす
- ・違いを楽しむ新食感

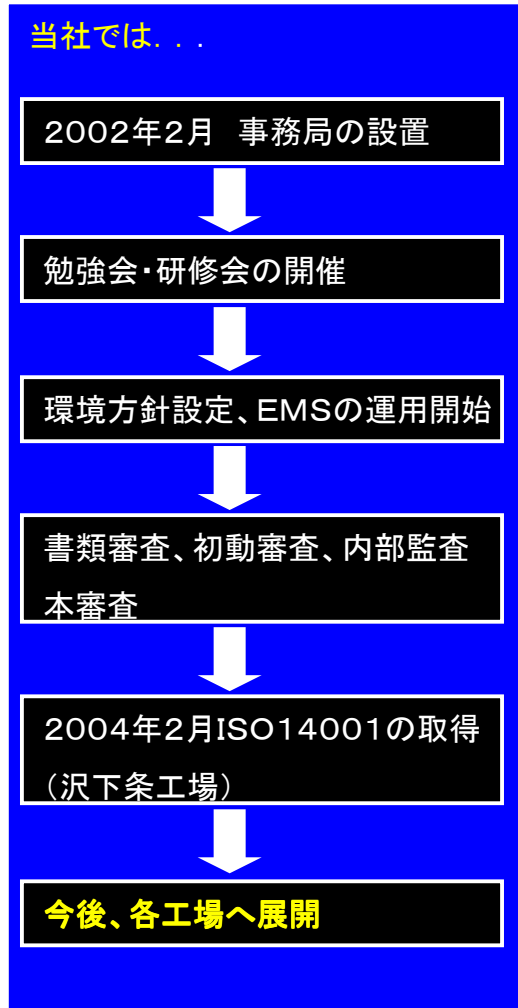
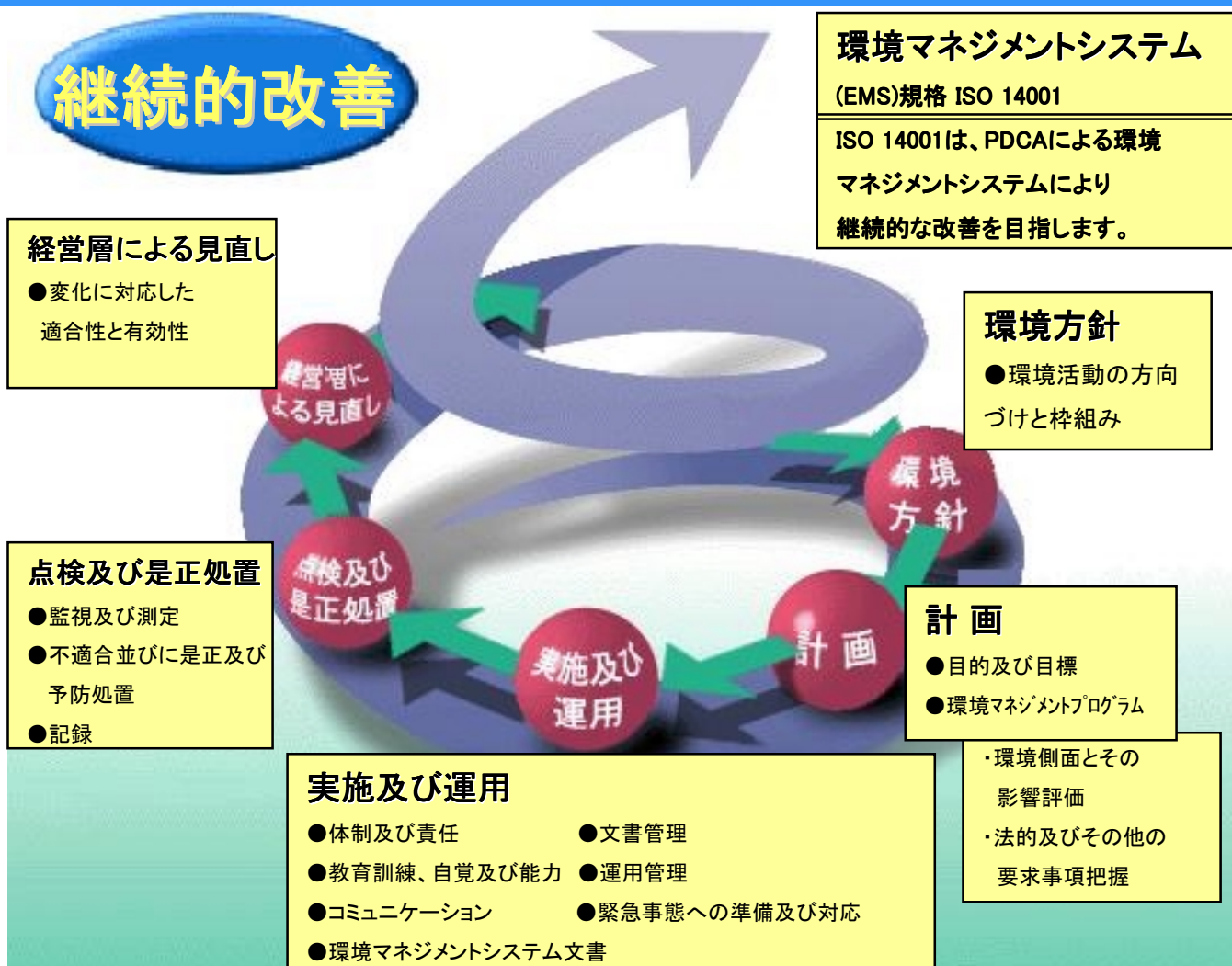
地球環境に優しさを



地球環境に優しい企業として、
CO2削減に取り組んでいます。



当社の環境方針



ISO(国際標準化機構)で制定されたEMS(環境マネジメントシステム)の運用規格。
企業での環境負荷低減のため、PDCAサイクルにより継続的な改善を実施する手法。
現在、全国で約8,000の事業所が取得している。

コージェネレーション



エネルギー効率が高く、クリーンで無公害の『太陽光複合コージェネシステム』を導入しています。

自家発電率

63%

太陽光発電量

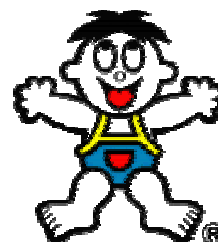
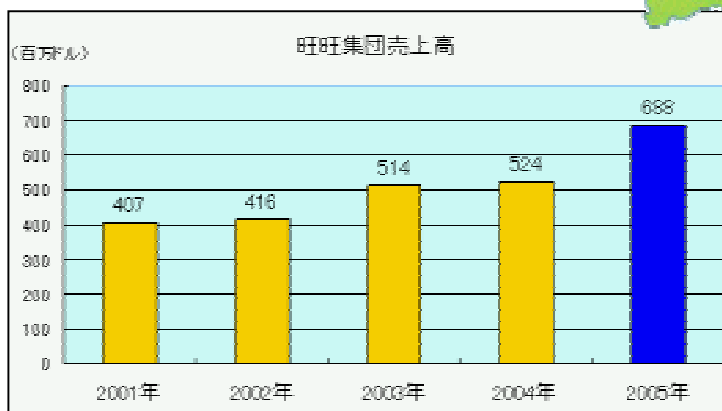
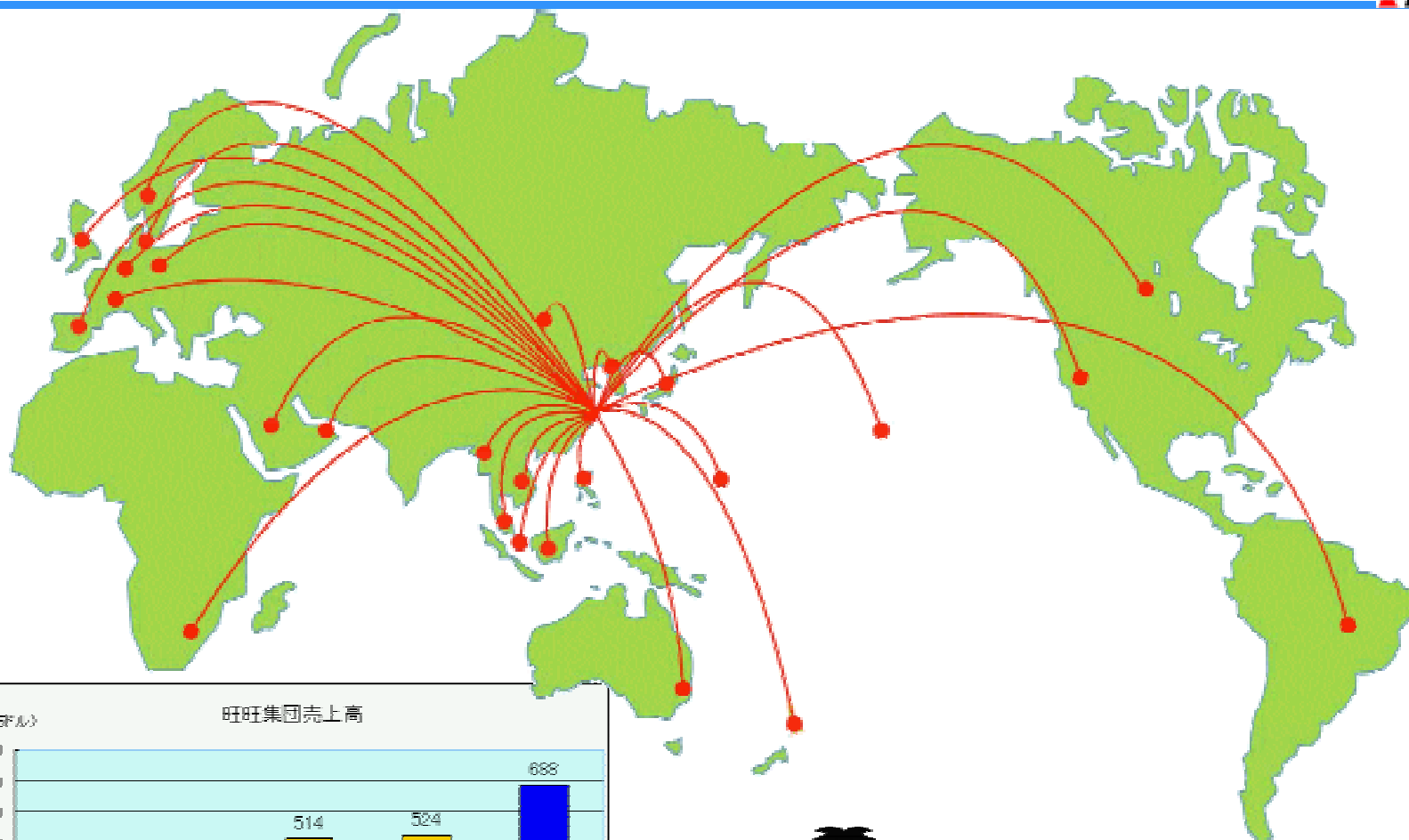
344 W

累積CO2削減量

4272 ton



日本の食文化を世界に



旺旺控股有限公司

シンガポール市場上場

日本のものづくりが中国を制す

キーワードは「縁」
当社と旺旺集團交流の歴史



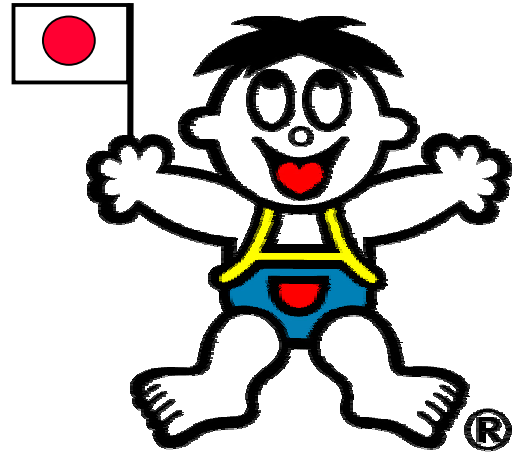
国境越えた縁
岩塚製菓と台湾系企業
技術提携史一冊に

岩塚製菓（長岡市）の技術提携を受け、中国や台湾マーケットで米菓販売などを拡大している岩塚製菓食品メーカーと編纂の交流の歴史をつづった「日本のものづくりが中国を制す」（辻中俊樹著）が出版された。この台湾系食品メーカーは上海に拠点を置く旺旺企業集団、シンガポール旺旺市場に上場もある企業立派なサポートする「ネクスト・ネット」の主宰者、P日研研究所が発行、二百三十六、千三百円（税別）。

「日本のものづくりが中国を制す」は、岩塚製菓と旺旺企業集団の交流の歴史をつづった「日本のものづくりが中国を制す」

2006年6月24日
新潟日報

合併企業



旺旺・ジャパン株式会社

2003年7月23日設立

資本金 1億円

代表取締役会長 蔡 衍明

代表取締役社長 高林民明



財務概要

<連結>

区 分	第49期 (13/4~14/3)	第50期 (14/4~15/3)	第51期 (15/4~16/3)	第52期 (16/4~17/3)	第53期 (17/4~18/3)
売上高(百万円)	17,629	18,279	19,065	18,813	19,726
経常利益(百万円)	310	607	627	241	476
当期純利益(百万円)	117	247	293	9	240
1株当たり当期純利益(円)	19.67	40.34	48.07	0.29	38.92
総資産額(百万円)	20,219	14,827	19,257	17,281	23,148
純資産額(百万円)	13,406	10,241	12,749	11,415	13,683
1株当たり純資産額(円)	2,236.31	1,726.52	2,236.31	1,924.38	2,306.82

<単体>

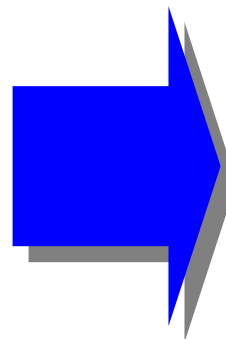
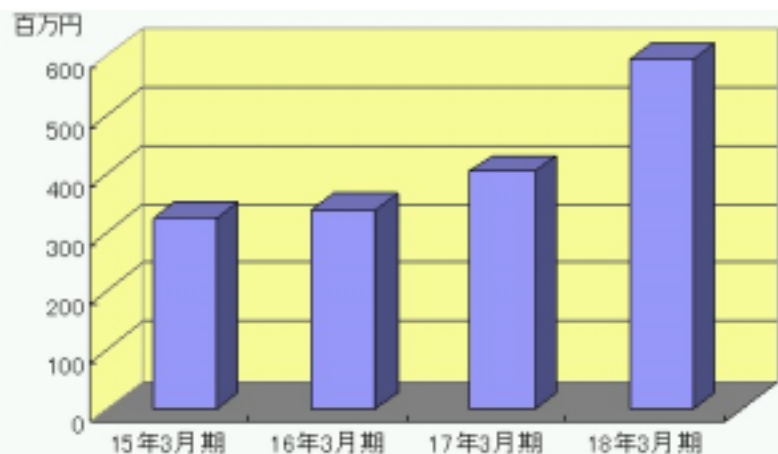
区 分	第49期 (13/4~14/3)	第50期 (14/4~15/3)	第51期 (15/4~16/3)	第52期 (16/4~17/3)	第53期 (17/4~18/3)
売上高(百万円)	16,298	16,928	17,722	17,540	18,419
経常利益(百万円)	258	589	591	243	440
当期純利益(百万円)	86	246	289	28	236
1株当たり当期純利益(円)	14.41	40.49	47.77	4.04	38.65
1株当たり純資産額(円)	2,177.29	1,668.10	2,096.71	1,877.89	2,249.95
PER(倍)	72.9	23.5	24.5	328.2	43.8
PBR(倍)	0.48	0.57	0.56	0.71	0.75
ROE(%)	0.8	2.1	2.6	0.2	1.9

原油価格の高騰より天然ガスへ

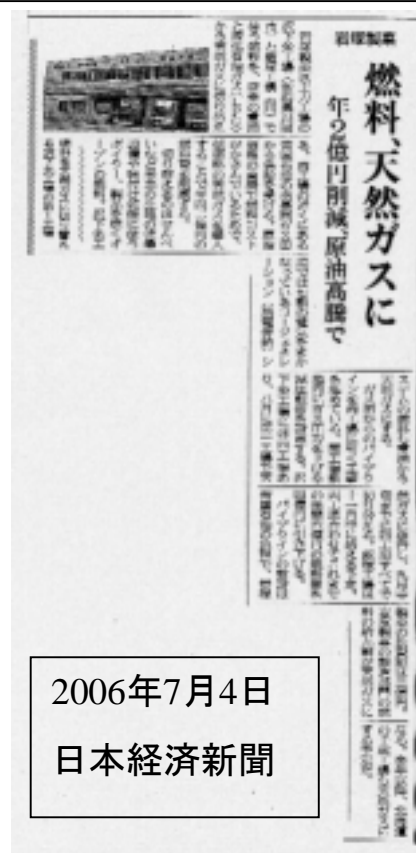
国際原油価格の上昇

ガソリン、軽油等の値段は過去最高額に

当社燃料費の使用金額



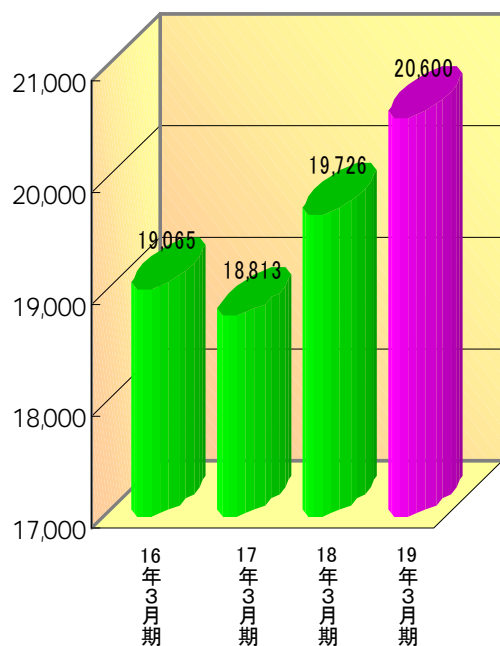
天然ガスに 燃料転換



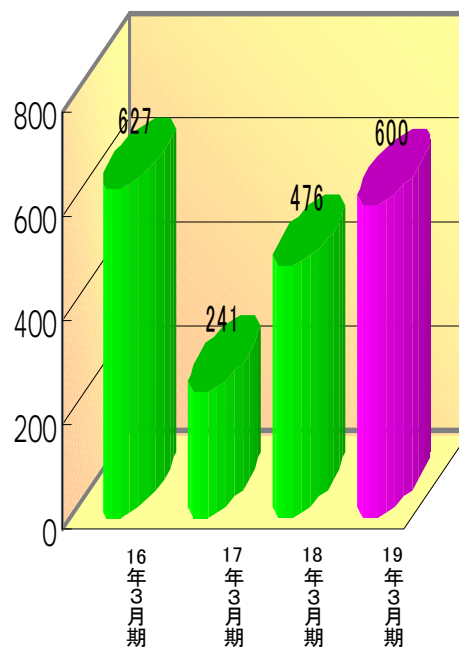
2006年7月4日
日本経済新聞

業績の推移

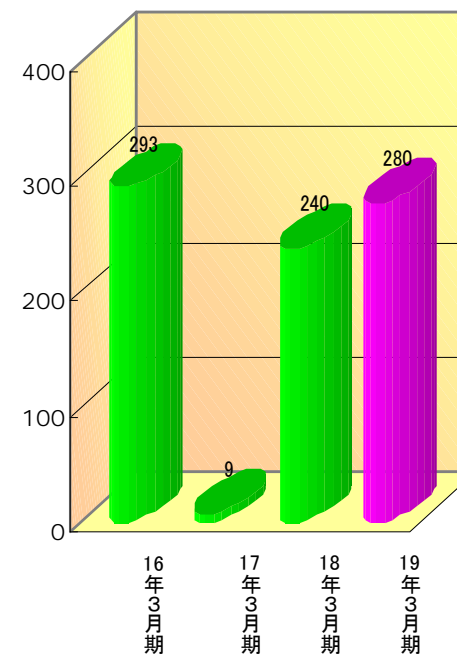
売上高(百万円)



経常利益(百万円)

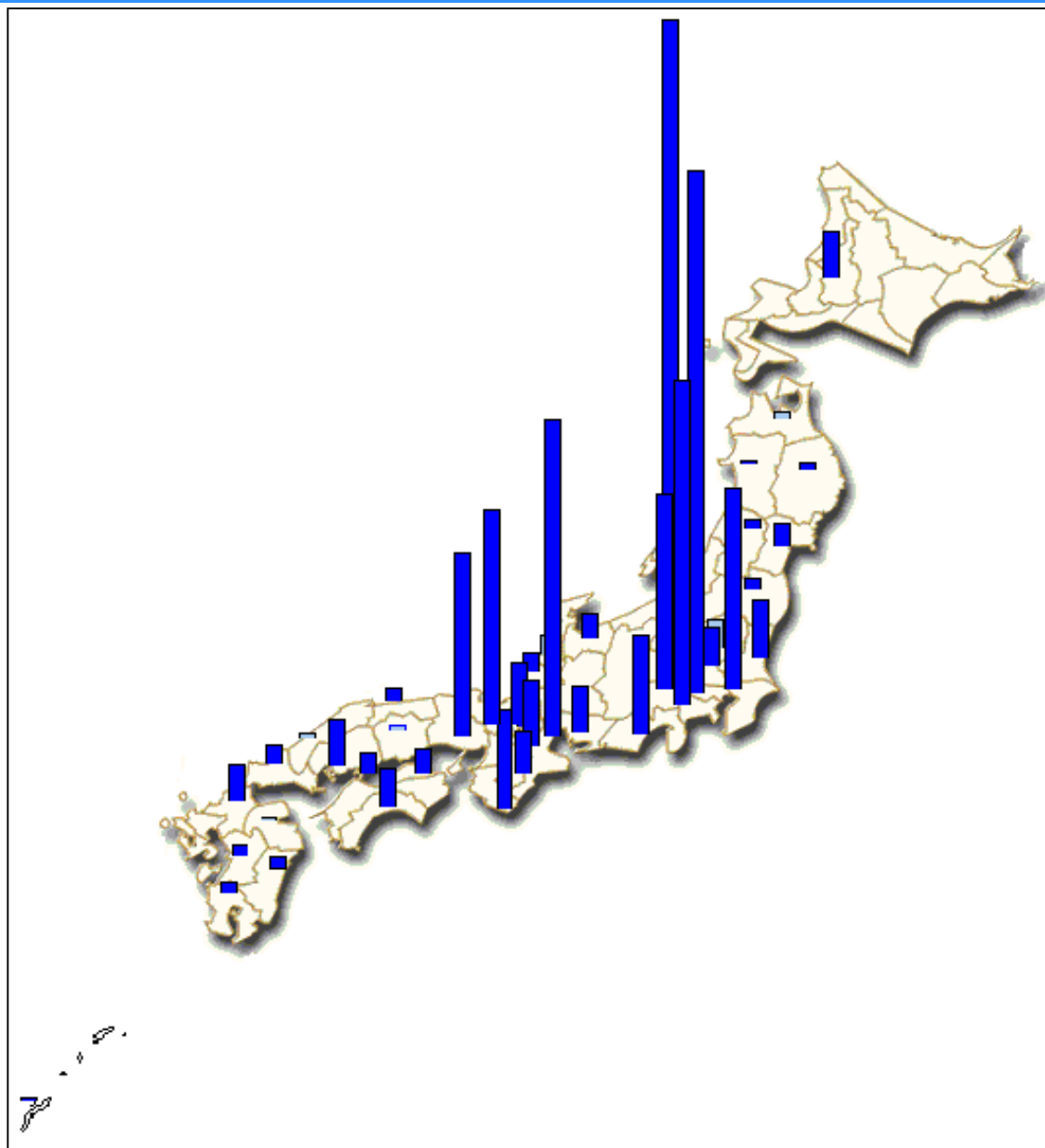


当期純利益(百万円)



- ・17年3月期 中越地震の影響による落ち込み
- ・18年3月期 全社的生産ラインの再構築
- ・19年3月期 天然ガスに燃料転換

当社を支える株主様



■ 平成18年3月末現在 ■

株主様数 4,306名

株主優待制度

- ・株式の購入単位は100株

- ・当社製品を贈呈

権利確定基準月・・・3月、9月

100株以上の株主様・・・1,000円相当の当社製品

500株以上の株主様・・・2,000円相当の当社製品

1,000株以上の株主様・・・5,000円相当の当社製品

2,000株以上の株主様・・・10,000円相当の当社製品 **NEW!!**

(2回に分けて贈呈)



**本日は、IR説明会にご参加いただき
ありがとうございました。**